

国際学部

国際教養学科



国際学部での学び

国際学部では、グローバル化社会で起こるさまざまな事象を理解し、自分に何ができるかを考える人を育てます。日本と東アジアに軸足を置きつつ、世界を幅広く視野に入れること、言語・文化・社会の多様性を学び、解決すべき課題を発見することを重点に学びます。出身国や専門分野の違いを越えて、複数の言語を使いながら協力する教員たちに接することで、グローバル化社会の縮図のような、国際を身近に感じられる環境を提供します。

グローバルは身近なところから

「国際」というと、自分は外国に行かないし、英語を話す機会もないから関係ないと思う人が多いです。しかし「国際」は実はすぐ近くにあります。例えば近所の店で外国人が働いている、電車に乗ったら外国語が聞こえてきた、など思い当たることはあるでしょう。国際学部でも、東北学院に来る留学生と交流することで、自分が留学するのとは異なる貴重な経験をしている学生がいます。そして彼らは、外国語ではなく日本語を使うことも多いです。「国際」を遠くで起こることと考えず、自分事にしてほしい。国際学部はそう願っています。



Admission Policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
 2. 国際学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、国際化に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
 3. 高等学校における学習によって、国際学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
 4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
 6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



国際教養学科の特色

多様な背景をもつ教員集団

国際教養学科には、「日本しか知らない」教員はいません。外国ルーツで日本で教育を受けた人と、日本ルーツで留学経験や海外との接点をもつ人が、共に教育と研究に携わっています。使われる言語は日本語中心ですが、話す相手や場面によっては、英語や韓国朝鮮語、中国語に切り替わる時もあります。みな出自も専門分野も異なるので、行き違いが発生することもあります。それはグローバル社会では普通のことです。多様な教員と関わって、「国際」を直接体験してみませんか。ちなみに男女比は3:4で、女性の方が多いのも特徴です。



外国語を学び、外国語で学ぶ

本学科では、英語、中国語、または韓国朝鮮語を3年次まで継続して学び、「自立した使用者」(通訳者に頼らなくても意思疎通できる)レベルまで伸ばすことをめざします。加えて、専門的な内容を扱う講義を10科目以上、英語で開講しています。例えば、Japanese Culture(日本文化論)、Japanese Linguistics(日本語学)、World Religions(世界の宗教)、Japan in Global Context(世界の中の日本)、Multiculturalism(多文化共生論)などで、担当教員のほとんどは英語ネイティブではありません。「外国語で」話し、「外国語で」学ぶことは特別なことではない。それを実感できると思います。



日本語を外国語として教える

国内外で日本語教育のニーズが高まる中、日本語を外国語として教える専門職が「登録日本語教員」という名称で2024年度から国家資格化されました。本学科では、この資格取得につながる基礎的知識・技能を習得することができます。最初に「日本語のしくみ」などの科目で日本語の特徴を分析し理解を深め、「社会言語学」「共生言語学」などの科目で日本語がどのように使われているかを学びます。同時に「日本語教育学概論」「日本語教授法」などの科目で、日本語教育の歴史や現状、指導方法などの専門知識を身につけ、4年次に日本語学校などで教育実習を行います。



国際学部 国際教養学科



理念・目標

英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれか、並びに国際化を意識した日本語の運用能力を高めて、異なる背景を持つ人々との意思疎通手段を増やし、グローバルな問題や動向に配慮しつつ、ローカルコミュニティ（在住地域や所属組織など）に積極的に貢献できる「よき地球市民(Good Global Citizen)」を育成する。

言語と多文化共生

言語や文化の比較を通して日本語と日本文化を相対的に理解し、言語と社会の関係や多文化共生について考察します。また、言語政策や日本語教育についても学びます。

東アジア研究

中国、韓国・朝鮮、そして日本が互いの関係性の中で辿ってきた道や現在抱える問題を理解します。また、文化を通じた良き隣人としての新しい関係性構築について考えます。

グローバルスタディーズ

国際関係の成り立ちや国際ビジネスの現場において生じる問題を理解し、日本や世界が直面する問題への対処法を考えることができる能力を身につけます。

専門分野

専門科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
基幹科目	国際学概説	異文化体験演習A(外国人支援) 異文化体験演習B(インターンシップ)	国際学演習I-II	卒業演習I-II
専門外国語科目	第1類 総合英語I A・IB 英語リーディングセミナーA・B 英語コミュニケーションセミナー 英語ディスカッションセミナー 初級中国語A・B 実践中国語I A・IB 初級韓国朝鮮語A・B 実践韓国朝鮮語I A・IB			
	第2類	総合英語II 英語ライティングセミナー 英語プレゼンテーションセミナー 英語で学ぶ時事問題 英語で学ぶ日本の社会と文化	中級中国語A・B 実践中国語II A・II B 中級韓国朝鮮語A・B 実践韓国朝鮮語II A・II B	ビジネス英語 日英翻訳実践 英語検定試験研究 上級中国語A・B
	第1類 多言語と文化共生	日本語のしくみ 日本語学I	日本語学II 異文化コミュニケーション論 比較文化論 ジェンダーと言語	モノと宗教 社会言語学 共生言語学 比較言語学I Topics in Japanese Linguistics
第2類	東アジア研究	中国語圏の言語と文化 中国語圏文化論 近現代中国の歴史と社会 現代中国の諸問題	東西文明交流I-II 朝鮮半島の文化と歴史I-II 東アジアと植民地支配 越境と移民	現代韓国の諸問題 社会的マイノリティと差別 China in Global Context Two Koreas in Global Context Contemporary Korean Culture Japan in Global Context
第3類	グローバルイニシアチブ	グローバル政治論I-II ナショナリズム論 グローバリズムとナショナリズム 会計の世界史	震災とリスクマネジメント グローバル経済I-II グローバル・トピックス International Relations I-II	開発と政治 平和論 グローバルビジネスと会計情報I-II Understanding Global Society I-II Global Business Case Studies I-II Contemporary Political Issues
資格科目	日本語教育学概論I・II 日本語教授法 日本語教育文化論 日本語教育学特論I・II 日本語教育実習法I・II 日本語教育実習I・II			

※2026年3月時点の情報です。※掲載内容は予定であり、変更となる場合があります。

Topics 特徴的な学び1

翻訳を通して、ことばや社会、 自分自身を見つめる

古川ゼミでは、翻訳を通してことばや社会などについて考えています。現ゼミ生が関心を持っているのは、英語のゲームに見られる皮肉表現の翻訳、韓国ドラマの丁寧語の翻訳、和歌の掛詞の英語への翻訳、通訳者の倫理などです。グループ研究や個人研究、卒論執筆に取り組みますが、年に数回、東京の大学の翻訳学ゼミとオンライン合同ゼミも行います。また、2025年には図書館とのコラボ企画「著者と語る」を開催し、『「自分らしさ」と日本語』の著者・中村桃子先生と「名前とアイデンティティ」について語り合いました。



Topics 特徴的な学び2

世界の扉を開けよう！ 体当たりの異文化コミュニケーション

「異文化体験演習B」の活動例として、栃木県にある「アジア学院」のスタディキャンプがあります。アジアやアフリカからの留学生が有機農業を学ぶ学校で3泊4日を共に過ごし、農作業や食事、レクリエーションを通して異文化コミュニケーションを実践。国籍、言語、年齢、社会的背景も多様なコミュニティに飛び込む、国際教養学科ならではのプログラムです。参加学生からは「教室ではできない“生きた学び”」「世界を見る目が変わった」などの感想が寄せられ、その後の学びをより豊かにする貴重な経験となっています。



More Topics



大好きな韓国に浸る大学生生活 将来は二国間交流に貢献したい

3年 藤田 萌 さん
(宮城県/名取北高等学校出身)

韓国ドラマをきっかけに朝鮮半島の文化や歴史に興味を持ちました。本学科を知り「仙台で東アジアを学べる、国際交流ができる大学を見つけた！」とうれしくなりました。新設学科ならではの、先生方とともに学科を創りあげるような楽しさがあります。

2年次の後期、本学の提携校である全南(チョンナム)大学校へ交換留学しました。寮に入り、憧れの韓国での日常生活を送りながら、歴史や文化への理解を深められました。帰国後も、学内の「スタディグループ」制度を活用し韓国に興味のある学生を募っての活動や、学外の日韓交流サークルで運営スタッフなど、韓国づくしの日々。学生だからこそたっぷりある自由時間を満喫しています。将来は、大学での学びを活かして日韓の経済交流に貢献できたら幸いです。



NEXT

続きはこちらから

